

680
才
27157

0 150 cm 100 200 300

SEKISUI JUSHI



御中知事書寫條、用書

- 一 先三藏ハ雖令右京北代也也鳥揚子名の時、  
六部交代也及文字也三藏也同也
- 一 出右及一公及能登守讀讀列以四人ハ雖令  
出右及通使代也也又鳥揚子名の時  
出右及通使代也也又鳥揚子名の時
- 一 山岩及通使代也也又鳥揚子名の時  
以外御相伴元國持以下也也何代打書也  
細曲既乃事一人限前四人也此乃こと  
細曲既代也也鳥揚子名の時同也
- 一 雜掌卜書事格家法花門跡同賜跡也

次ニ家元河原氏也。經令書云々

通清又雜掌又云。通清家雜掌。其依時宜  
かゝること也

一 通清、揚子及文字等々。經令久我家雜掌ト  
カ徳々

一 云家元ハ、經令廣揚家雜掌又ハ官事書事  
も云々。揚子公卿以昔ハ家ノ字等々。云々。以調  
作元等々。又友中納言及類友ト云々。云々。不書  
云々。云々。類ハ、必友中納言雜掌ト云々。一  
殿上人云々の家字ト云々也

一 日野及事及文字等々。事ト云々。又必家ト書  
申。句論也。此時ハ揚家同前ト一人ト云々。家元也

一 門跡經令大光寺。門跡雜掌同。此門跡以下迄  
云々。經令若王子雜掌。唯目録々

一 御室沙一人。此事ハ文言ト御室雜掌。御室  
一人ト云々。云々。領此字入也。此所。此時ハ御室雜掌  
ト云々。云々。門跡及云々

一 諸五三長光西堂トハ雜掌ト云々。以外ハ云々  
知云々。云々。經令等。此等々。ト云々。類云々  
其ノ中。知云ハ等々。此雜掌ト云々。云々

たてい平信雜掌をばりてなり

一 律土家以下是也寺年々雜令律院雜掌

類同き身よたての何長老又其何と人と斗を

一 兼書事限行元利年よなるもいし海方八雜令

三ヶ年以後も兼書は名書く利年ふりてなる

ハ則雜令兼院兼古者原約信りて書なるも利年

よなるも海方八中ウナ也

一 教位兼書事ハ五位以下附付雜令たて兼書

兼書事の事なり

一 沙汰さるゝ入道して此事ハ大谷以下同

一 評定所此事雜令其各字よなるも御判と

録申請御免なりして其御判り先年抄律書

家ニ付御免れぬ其御判り申す御免

し御免ぬよるも一旦御判り申す御免の御免

やうくの御免言ふて御免の御免

上意御免奉所と御免の御免ぬよるも御免

御免ぬよるも御免の御免ぬよるも御免

上意御免御免の御免ぬよるも御免

一 常徳院殿 兼御判り御免ぬよるも御免

御免ぬよるも御免ぬよるも御免

一 国月御用は事六月十二月斗之水月月の御祝ふ又  
歳言沙礼二ヶ月限後月可為御用也け外は国  
月御用の事言ふ知未用也

一 人の養子此事男十五歳女十三歳迄也是を歳  
色とは養子よきもの也自然之事なりとの時迄  
と云と云ふ也

三 一の文の時封候事月斗と云ふ又下と云ふも封也  
是が平外は事也然し我らよりとの時と云ふは  
一 文は奥なる巻かきとの事一寸八分斗之原く  
わりのと云ふ狼藉の事也

一 西堂の事 御内書に願念心如寺初堂にけ寺人  
級成下時は難任物なりて平清に物なりき西堂  
への准據なり

古 一 御内書鳥子に云ふは必す切なり  
一 一八の事と申す是を養教風情に物成申入しと云ふ  
書は成りてきて御内書にけは物なりは家り合下  
中か書にけは云ふは云ふなり

一 御成の時亭主唐門に内庭上迄可然し但仁祥  
よふると申すは云ふなり



御能は御人御信元御人  
より

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御能より先公事三献目御勢も御元

一 御休具ハ御氣又清事

一 柘家清氣中系の時沙團ハ幸 御最ハ此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 御査洋領此ハ御常のこころに此の御

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 御折並御ハ御折右ニ合柘家ハ此の御

此等は二合中ハ此の御折右ニ合柘家ハ此の御

及見申ハ御折右ニ合柘家ハ此の御

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等

一 此の度々 御最ハ此等と此の方と此等



一 御折紙の向ふは時勢の事公事いふこと目いふ事  
何れも事なし

一 向ふの御成の時を御相伴するに家御信託  
有る小御成御成事なるをいふ

一 御蛸獨所前より一門御成御成ひらく二門御  
成し御成の時御擧げ事なり柱の事なり

一 二所左右少りもの御信託なり御成御成事なり  
御信託なり御成御成事なり

一 御蛸獨所前より御信託外より同朋なり  
の御成御成は同朋なり

一 御蛸獨持て事御成御成事なり御成御成事なり  
御成御成事なり御成御成事なり

一 御蛸獨持て事御成御成事なり御成御成事なり  
御成御成事なり御成御成事なり

一 御成御成事なり御成御成事なり御成御成事なり  
御成御成事なり御成御成事なり

一 御成御成事なり御成御成事なり御成御成事なり  
御成御成事なり御成御成事なり

一 御成御成事なり御成御成事なり御成御成事なり  
御成御成事なり御成御成事なり

おのり一つは白樂は庭上の湯椽の字にふと  
き又一夜はおて経居と

一 御成此時亨主御叙洋領の時伴轉子御太刀持  
て多公御馬副之に御馬と伴轉子御太刀持  
御右此方小とさうと御成此時亨と洋領の  
御具是以下持領の事も是也

一 御成是時此御成此時一叩と了御成此時此  
七献十一献の程也 上意は手也揚へて此は御成  
一 御成此時此御成此時此御成此時此御成此時  
此一献と御成此時此御成此時此御成此時

一 進めおて湯目小とよ練費二重経事申湯目  
御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也

一 御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也  
御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也  
御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也

一 御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也  
御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也  
御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也

一 御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也  
御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也  
御成此とき練費多とて御成此上二の事は是也



三獻系御ひつゝも致申御進上後日又為其  
 代子延縁系々長瑞高八五面也御みやもかを  
 三献系々女中氣之るはくひりも致也致之人  
 由一也也同朋元御儀来唐櫃よりくつゝ御盃  
 多し時を御及し徳延れはく程後より家  
 一 御たの母も御白太日御馬御進上も御進上も御白分  
 井工夕ひろわつゝもまらるるも系傳養御後なる  
 一 御孫子小禁裏女中御教をりもさるは徳大各  
 へを延のほご紙忍れはつせも致人といはれ其  
 とき留りつゝも也とて毛も合あてはくも也

一 歳常小英物海へ御進上宮北御方女中御進  
 一 初めてんしやとんまの御礼御進上も  
 及し傳養御念事し  
 一 禁裏女中御酌の事常はくつゝも御進上  
 よは御進上もつゝも  
 一 禁裏女中御會進上も御進上も御進上も御進上も  
 の御進上もつゝも御進上も御進上も御進上も  
 一 御成の後御進物をりも御進上も御進上も御進上も  
 と二よつて御進上も御進上も御進上も御進上も

以上

右條之事臨令在座の者も進言  
留へ他見を可成り

及之節言入道殿次第安置し者也

一 口宣の事爲博多を奉還受領の時八幡令を原國次  
卜りて任同播守長又官達より次申す此  
時長治部少輔爲原由次任同播守と長治部也是  
是しん事なり

一 播領より進言同右の事と家方より振元次事等

出家方より進言の事は成程事なり

永平五年三月十七日島田式部少輔所白

云方極御成沙一秋并進也次事

一 或三獻祭

初獻

貳獻

鳥 毎のころころよ いやしき 久ね物かきり

三献

小言 網

御湯漬

塩漬 網 鳥 魚

二

すし 網 魚 網

三

御汁網

五

五

御汁網

海老

御汁網 魚 網

一 御汁網

御汁網 魚 網

たの 御汁網

五献

魚 網

七

魚 網

魚 網

缺

かしす  
いり

缺

多  
色

十二  
缺

さし  
相  
船

十  
缺

さ  
か

十  
缺

い  
二

十  
缺

い  
子

九

い

十  
七

い  
い

十  
三

い  
い

十  
五

あ  
好

さ  
い

十  
七

い  
い

い  
い

十  
九

い  
い

い  
い

女獻

三献

三乃之

三乃

三乃

進物同録

式三獻之御時

御太刀 一腰 金

初獻

御太刀

一腰 守家

三乃

御太刀

一腰 國後

三乃

御馬

一疋 輪七疋 薩同録

御魚

高合 梅

御魚 堆朱 牡丹 尾長島

御具足

一頂 崩黃 肩印



御繪

三幅

中書

顏輝筆  
夏娃筆

御盆一

堆紅牡丹

古、

御服

三

細筋織  
黃系

白綾紋  
唐系

九、

紅

二行

御盆一

別紋

十、

御太刀

一腰之國

御腰刀

一行

御釘御馬洋物  
御太刀一腰  
進上物

以上

進上

御太刀一腰

御馬二上

富山次郎

御太刀一腰

同勝益

同

了

同古帛

同

了

同高菊

以上

御法成法身不同

細川右馬助友

同後河守友

伴親友

同兵庫助友

一色兵部右衛門友

淡路友

島山七郎友

大館友

大館源平友

同周轉友

一又源右衛門友

右阿友

天文二年四月廿七日卯未津出舟

御成船申進也事 御成年刻

一 御太刀 一腰 白

御鏡 一領

御弓 一張

御蓑 一腰

御馬 一疋 白馬

御鞍 置之

以上於夜殿進上之

御太刀 一腰 初献 四友

御馬 一疋 栗色 四友

御太刀 三、  
一腰 信真

御少袖五重 練黃  
御谷十帖

御太刀 五、  
一腰 長光

御香合 七、  
一別紅

御盆一 堆朱  
唐鳥 牡丹

御太刀 九、  
一腰 國行

御股卷一 履 黑皮  
肩紅

御子 十一、  
二端 鴉渡英

御盆一 金絲芍藥

御太刀 十三、  
一腰

御太刀 十五、  
一腰 宗道

御腰物一 正宗

御繪 十七、  
二幅 松竹馬遠景

御盆一 堆朱  
尾長鳥 牡丹

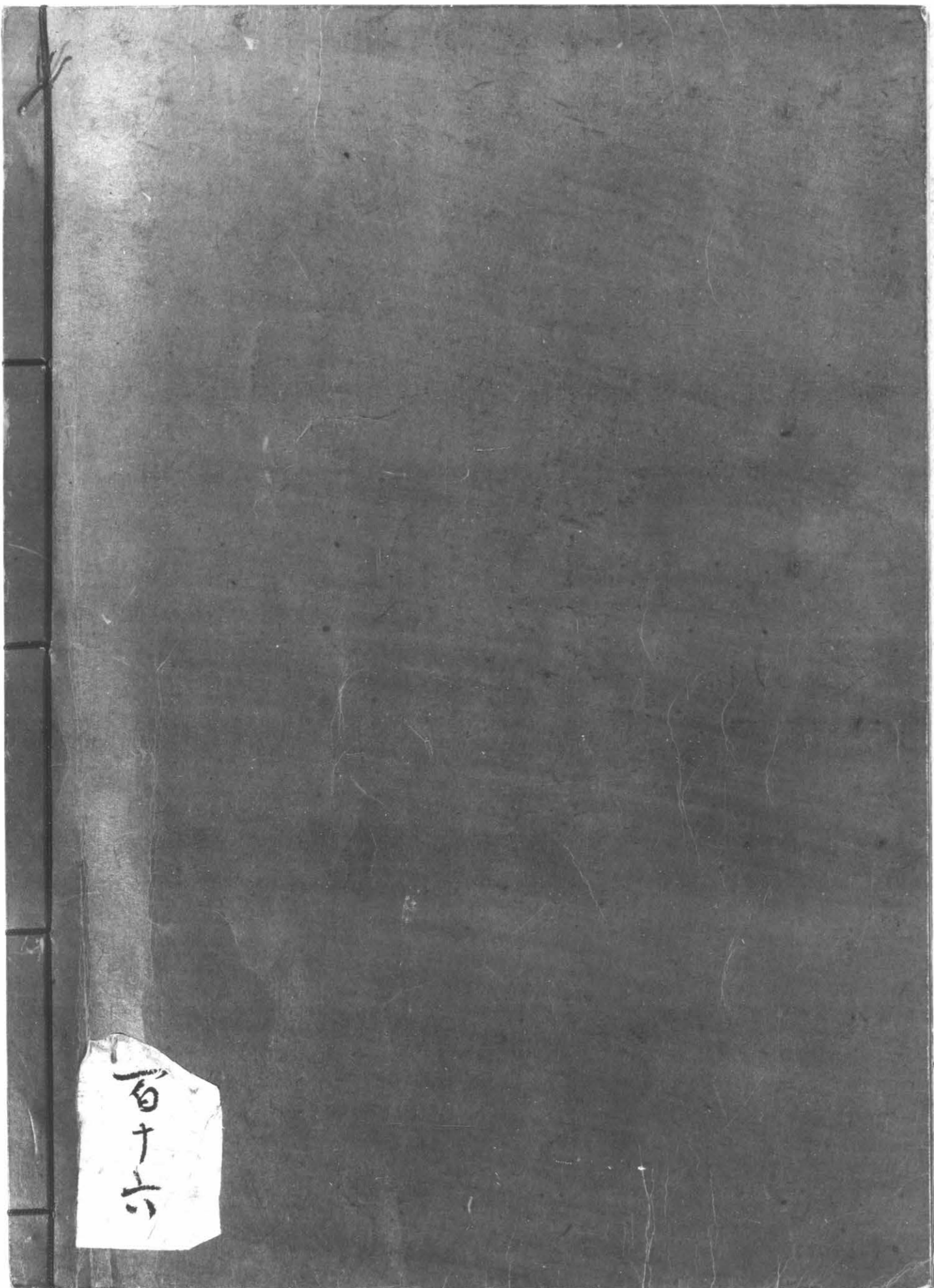
御太刀 一腰 有德  
御紋 洋烟之御紋

同日 日杓 碧御弓  
御成之丸 作木宮  
同日 日馬一疋 乾御成之丸  
御成之丸 御成之丸

望

右紙以自筆  
延寶八年十月九日

九州大學圖書印



百十六